

## 2014 年度第 10 回執行理事会議事録

日 時：2015 年 3 月 14 日（土）13:00～18:15

場 所：地質学会事務局

出席者：井龍会長 山本副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 海野 緒方 中澤 杉田 竹内 星  
保柳 松田 （事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：ウォリス 平田（井龍） 廣木 山路 坂口

\*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 12 名，委任状 5 名，合計 17 名の出席。

\*前回議事録の承認 一部修正の上，承認した。

### I 審議事項

#### 1. 永年顕彰会員について，運営規則に条文を設ける件（平田）

運営規則第 16 条において各賞の詳細が記されているが，永年会員顕彰については 1 項にあるだけである。どのような会員を顕彰の対象とするのかを記しておく必要があると思われるので，運営規則 16 条 2 項の（11）に，下記の文言を追加することを提案する。提案通り承認し，次回の理事会に諮ることとした。

第 16 条 本学会は地質学に関する優秀な研究業績を修めたもの，ならびに地質学の発展・普及による社会貢献の著しい物を表彰するとともに，地質学会において長年にわたって活躍してきた会員に永年会員顕彰を授与する。

#### 2. 表彰の名称及び内容はつぎのとおりである。---以下文章略---

（1）日本地質学会賞：---以下文章略---

（2）～（9）項 略

（10）日本地質学会表彰：---以下文 略---

（11）永年会員顕彰：学会の記録に基づき，当該年の 1 月から 12 月末日までに在会 50 年（通算可）に達する会員。

#### 2. 2014 年度センター試験「地学」に関する申し入れ書について（廣木 代井龍）

申し入れ文案をさらに練り，廣木理事を中心に最終案を作成する。入試センターに送付し，プレスリリースする。

#### 3. 次期学習指導要領改訂に関する要望書について（廣木 代星）

執行理事会で内容を至急検討し，3 月中に文科省に送付し，プレスリリースする。

#### 4. 2014 年度決算概算および予算案（緒方）

- ・ 14 年度決済概算を確認した。

- ・ 15年度予算案の特別事業費に緊急災害調査事業費を加え、予算案の基本方針を承認した。今後細部を調整する。

#### 5. 日本学術振興会賞の推薦について（井龍）

応募が1件あったが、学会締め切りの3月末を待って決定する。

#### 6. 長野大会国際シンポジウム（案）について（ウォリス 代井龍）

日本と東アジアの古生代古地理と古環境に関するシンポを開催する。

#### 7. 総会議案について

議案予定を承認し、次回の理事会に諮ることとした。

#### 8. 理事会（4/4）審議事項

・運営規則改正/・各賞受賞者の選出/・名誉会員の選出/・2014年度事業報告・決算概要/・2015年度事業計画・予算案/・125周年記念行事について/・総会議案について

#### 9. 事務局職員の退職について（緒方）

事務局員の阿南晶子氏から3月6日付の会長宛の意見書を受け取った。これについては、2月12日に阿南氏本人からの退職意思を、緒方理事並びに他の事務局職員全員が確認しているの、労働契約は合意解除契約が成立している。ゆえに学会としては変更を要さないことを、会長名で回答することとした。

## II 報告事項

### 1. 全体的報告（メール審議確認）

1) 3月2日、地学の知識を減災のソフトパワーに一東日本大震災4年目を迎えて一、文科省の記者クラブにプレスリリースを行った。→HP, geo-flash, News 誌に掲載

### 2. 運営財政部会：総務委員会（緒方）

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

1) 東レ科学振興会より2014年度の受賞者および授与式の案内→欠席の返事

2) 科学教育研究協議会より第62回全国研究大会（8/8-10, 近畿大）の後援依頼を例年通り承諾した。

<その他>

1) 産総研から“地質情報に関する公開及び他機関との連携に関する調査”（NTTデータ研究所）のアンケートに答えた。

2) 第35回万国地質学会議（IGC, 2016/8/27-9/4, 南アフリカケープタウン）の準備状況について、IUGS理事の小川勇二郎会員より報告された。→ geoflashに掲載

<会員>

1) 今月の入会者（1社, 9名）

2015年度から入会希望（1社, 9名）

賛助会員〔1社〕：総合地質調査株式会社

正会員〔5名〕：江島圭祐，佐藤たまき，長 秋雄，済川 健，吉田晶樹

正(院割)会員〔4名〕：正岡祐人，竹末勘人，福岡航治，松本孟紘

2) 今月の退会者 (71名)

2014年度末退会予定者一覧として資料回覧した。

3) 今月の逝去者 (正1名)

豊原富士夫 (2/18)

4) 2015年2月末日会員数

賛助：27，名誉：62，正会員：3824 (正会員：3636，正(院割)会員：172，正(学部割)会員：16) 合計 3,913 (昨年比 -82)

<会計>

・2014年度決算予想および2015年度予算案について

3. 広報部会：広報委員会 (坂口・松田)

・フォトコンの審査会 (3/13) 報告 会員からの応募をもっと増やしたい。そのための方策を検討する。

・広報委員の募集について

委員会体制の見直しのため，委員の募集を行い (2/18 締切)，6名の応募があった。また，専門部会に対しても委員の推薦を依頼中 (3/31 締切)。現在，現行過程，火山，構造地質，海洋地質の各部会より推薦があった。

4. 学術研究部会 (ウォリス・竹内・中澤)

(1) 行事委員会 (竹内)

1) 5/23 総会のスケジュールを確認した。講演会の演者とタイトルが決定。

2) 2016年東京大会の準備状況

LOCから大会名の提案があったが，執行理事会として再検討を依頼する。

(2) 国際交流委員会 (ウォリス)

1) Geology of Japan の編集について全ての原稿が集まった (9割ほど完成)。査読中の章は2つあるが，今年中の出版の目処が立った。前書きを井龍会長にお願いした。

2) 日本—台湾の学術交流協定：MOU案について，Tien-Shun Lin氏より，次のboard meetingが3月か4月に開かれるので，MOUへの署名はその後になるとの返事があった。

(3) JIS，標準担当 (中澤)

5. 編集出版部会 (山路・海野・保柳)

(1) 地質学雑誌編集委員会 (山路)

1) 編集状況報告 (3月11日現在)

・2015年投稿論文 総数21編 [総説1 (和文1)・論説8 (和文6，英文2)・報告4 (和文2，英文2)・口絵1 (和文1)・巡検案内7]

査読中 18 受理済み 1

- ・ 121 巻 3 月号：特集 トピックセッション「ジュラ系+」の 10 年（その 2）：ジュラ系研究の将来展望（総説 3，口絵 1：計 42 頁）3/18 校了予定．校正中
  - ・ 121 巻 4 月号：通常号（報告 3，論説 1，口絵 1：約 40 頁）入稿準備中
  - ・ 長野大会巡検案内書：全 8 コース中 7 コース分が投稿完了．現在査読中．未投稿の原稿については，担当委員，事務局より督促中．
- (2) アイランドアーク編集委員会（海野）
- ・ 編集状況報告
- (3) 企画出版委員会（保柳）
- ・ 長瀬探検マップの校閲は概ね終了したが，レイアウト等については検討を要する．夏休み前には刊行したい．
  - ・ 大島・三原山探検マップの出版の諾否について．検討が進んでいないので，会長から企画出版委員長に，大島マップの出版についての委員会見解を聞くことにする．

#### 6. 社会貢献部会（平田・杉田・廣木）

- 1) 街中ジオ散歩（5/10；地質の日イベント）の後援：世田谷区教育委員会・東京都地質調査業協会
- 2) 街中ジオ散歩のリーフレット出版について，応用地質学会に協力を依頼する．
- 3) 地質調査研修の募集を開始．現在 4 名参加予定．さらに宣伝をすすめる．講師は徳橋会員と小松原会員．

#### 7. ジオパーク支援委員会（平田）

- 1) 2016 年の地震火山こどもサマースクール開催地募集について，4 地域から応募があり，三学会担当者企画委員会にて一地域を選考する．

#### 8. 地学オリンピック支援委員会

- 1) 三重大会のキャラクターコンペの入賞者表彰は地学オリンピック日本委員会が行う．
- 2) 三重大会に対する寄付金の分割支払いは，2015 年度分は予定通り支払うが，16 年度分は今後の状況を見て判断する．事業準備の進捗状況の報告，および日常的な活動状況の情報提供を求める．

#### 9. 地質技術者教育委員会（山本）

ジオスクリーニングネットの参加学会の会合が，3 月 10 日に行なわれた．その中で地方在住者が CPD を取得ができる機会が非常に少ないことが問題とされた．その解決策として全地連が e-ラーニングによる CPD 取得を検討する．CPD 単位の区分けの簡素化や自己申請するような事業の場合の年間の単位取得の上限数を決めることも検討する．

以上

2015 年 4 月 4 日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長（代表理事）井龍康文

署名人 執行理事 斎藤 眞